

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	精神看護演習	1	15	5	2年次・ 第2学期	☑外部講師 ☑学内講師	
講義目標	援助関係の構築の実際を学ぶ。 看護過程の展開を通して、対象の自立への援助方法を学ぶ。						
授業概要						時間	展開方法
1. 援助技法 1)コミュニケーション技術 2)プロセスレコード 3)カウンセリング技法 4)接近法						4H	講義
2. 看護過程の展開 1)統合失調症患者の看護(急性期・慢性期) 2)気分障害患者の看護						10H	
3. 評価						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、精神看護学①、精神看護の基礎 2)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、精神看護学②、精神看護の展開						
副読本	1)萱間真美編：パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 昭林社						
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	精神看護学概論	1	15	8	2年次・ 第1学期	☐外部講師 ☐学内講師	
講義目標	心の健康に焦点を当て、心の発達、心の働き、社会問題、制度について理解し、精神看護の機能と役割を理解する。対象の不適応状況を予防し、心の健康増進を図ることを学ぶ。						
授業概要						時間	展開方法
1. 精神看護の考え方 1)精神看護学概要 2)精神看護の位置づけ 3)精神看護の目的と意義 2. 精神看護の歴史 1)精神保健福祉の変遷とその活動 2)精神保健福祉に関する法の変遷 3)人権の擁護 4)家族への支援 3. 発達課題別、段階別の精神的問題 4. 精神看護の対象の理解 1)心の健康 2)危機・ストレス・コーピング 3)心の発達と健康 4)医療の場における心の健康 5)自己理解の必要性 6)患者-看護者関係 7)集団力動論 8)リエゾン精神看護 5. 評価						14H	講義
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、精神看護学①、精神看護の基礎、医学書院 2)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、母性看護学②、精神看護の展開、医学書院						
副読本	1)萱間真美編：パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 昭林社						
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	母性看護演習	1	15	8	2年次・ 第2学期	<input type="checkbox"/> 外部講師 <input checked="" type="checkbox"/> 学内講師	
講義目標	母性看護に必要な援助技術を習得する。						
授業概要						時間	展開方法
1. 妊娠・分娩・産褥期の看護(観察技術を中心に) 1)妊娠期の看護 (1)妊娠健康診査の目的と診査項目 (2)妊婦・胎児の観察技術 (レオポルド触診、腹囲・子宮底長測定、児心音聴取、乳房、浮腫) 2)分娩期の看護 (1)陣痛(発作・間歇・周期)の観察 (2)産痛緩和の技術 3)産褥期の看護 (1)子宮復古状態の観察 (2)乳房の観察と手当 4)新生児期の看護 (1)新生児看護の原則 2. 妊娠・分娩・新生児期の観察技術 【演習】 1)妊娠期：妊婦健康診査のデモンストレーション 2)分娩期：陣痛の観察 3)産褥期：子宮復古状態の観察、乳房・乳頭の観察 3. 新生児期の観察技術 【演習】 1)新生児の抱き方、コットでの移送、環境調整 2)身体計測：身長・体重・頭囲・胸囲・腹囲・頭部の計測 3)新生児の全身の観察 4. 新生児の援助技術 【演習】 1)オムツ交換、更衣 2)沐浴 5. 産褥および新生児期の事例による看護過程の展開（1組の母子を事例展開） 1)新生児期のアセスメントと看護の方向性： (1)出生直後 (2)出生24時間以内 (3)出生24時間以降 胎児期・分娩の情報を活用してアセスメントと看護の方向性を考える 2)産褥期のアセスメントと看護の方向性 (1)産褥2日目 3)産褥・新生児期看護の統合 母子を一体としてとらえ、看護の統合を考える 6. 評価						14H	講義
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、母性看護学①、母性看護学概論、医学書院 2)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、母性看護学②、母性看護学各論、医学書院						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	母性看護援助論Ⅱ (妊娠・分娩・産褥の援助)	1	30	15	2年次・ 第1・2学期	<input checked="" type="checkbox"/> 外部講師 <input type="checkbox"/> 学内講師	
講義目標	妊娠・分娩・産褥各期における正常・異常および新生児への援助のあり方について学ぶ。						
授業概要						時間	展開方法
1. 妊娠期の看護 1)妊婦の理解 (1)妊婦の身体的特性 (2)胎児の健康状態 (3)心理的特性 (4)社会的特性 2)妊娠期の看護 (1)妊娠経過の状態と観察・アセスメント (2)保健指導 (3)妊婦の日常生活とセルフケア (4)発達課題と親役割の獲得 (5)ハイリスク妊娠と看護 2. 分娩期の看護 1)産婦の理解 (1)産婦の身体的特性 (2)胎児の健康状態 (3)心理的特性 (4)社会的特性 2)分娩期の看護 (1)産婦の看護の基本的原則 (2)産痛のメカニズムと緩和方法 (3)分娩各期の経過の観察とケア 3)出生直後の新生児の看護 4)異常分娩と看護 3. 産褥期の看護 1)褥婦の理解 (1)褥婦の身体的特性 (2)心理的特性 (3)社会的特性 2)産褥期の看護 (1)産褥期の経過と援助 (2)日常生活の援助 (3)母子関係確立への援助 (4)育児指導 (5)母乳栄養確立への援助 (6)セルフケアと保健指導 3)ハイリスク、異常産褥の看護 4)特殊な状態にある褥婦の看護 (1)マタニティブルー (2)母子分離 4. 新生児期の看護 1)新生児の理解 (1)新生児の身体的特性・生理 (2)心理、社会的特性 2)新生児の看護 (1)新生児看護の原則 (2)新生児の計測 (3)経過の観察とアセスメント 3)新生児期に起こりやすい異常と看護 5. 評価						29H	講義
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、母性看護学①、母性看護学概論、医学書院 2)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、母性看護学②、母性看護学各論、医学書院						
副読本							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	母性看護援助論Ⅰ (妊娠・分娩・産褥の生理)	1	30	15	2年次・ 第1・2学期	<input checked="" type="checkbox"/> 外部講師 <input type="checkbox"/> 学内講師	
講義目標	妊娠・分娩・産褥期に生じる母体の生理的変化と胎児・新生児の成長発達について理解する。						
授業概要						時間	展開方法
1. 産科概論 2. 妊娠期の経過 1) 妊娠の正常経過 (1) 妊娠の生理・確立 (2) 胎児の発育と生理 (3) 母体の生理的変化 (4) 妊娠期の検査 (5) 妊娠と不快症状 2) 異常妊娠 (1) 切迫流産 (2) 切迫早産 (3) 妊娠高血圧症候群 (4) 糖尿病合併妊娠 (5) 多胎妊娠 (6) 胞状奇胎 (7) 子宮外妊娠 (8) 合併症妊娠 3. 分娩期の経過 1) 分娩の3要素と正常経過 (1) 分娩各期の経過 (2) 胎児の健康状態 2) 異常分娩 (1) 分娩遷延 (2) 分娩時異常出血 (3) 胎児仮死 (4) 帝王切開分娩 (5) 吸引分娩 4. 産褥期の経過 1) 産褥期の正常経過 (1) 産褥の定義 (2) 産褥の復古現象 (3) 乳房の変化 (4) 全身の変化 2) 産褥異常 (1) 子宮復古不全 (2) 産褥感染 (3) 乳房の異常 (4) マタニティブルー 5. 新生児期に起こりやすい異常 1) 新生児仮死 2) 先天性奇形 3) 低出生体重児 4) 新生児黄疸 6. 評価						29H	講義
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、母性看護学①、母性看護学概論、医学書院 2)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、母性看護学②、母性看護学各論、医学書院						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	母性看護学概論	1	15	8	1年次・第2学期	<input type="checkbox"/> 外部講師 <input checked="" type="checkbox"/> 学内講師	
講義目標	母性看護の主な概念、女性のライフサイクル各期の特徴、母子を取り巻く社会環境・家族関係、制度を理解し、母性看護の機能と役割を理解する。						
授業概要						時間	展開方法
1. 母性とは 1) 母性の身体的特性 2) 母性の心理・社会的特性 3) 家族の機能と発達 4) セクシャリティ 2. 母性看護とは 3. 人間の性と生殖 1) 性周期と生殖のメカニズム 2) 性反応 3) ヒトの発生と遺伝的要因 4. 女性のライフサイクルと健康・看護 1) リプロダクティブヘルスケア (1) 家族計画 (2) 性感染症 (3) 喫煙 (4) 性暴力、DV 2) ヘルスプロモーション 5. 女性のライフサイクルと看護 1) 思春期の健康問題と看護 2) 成熟期の健康問題と看護 3) 更年期の健康問題と看護 4) 老年期の健康問題と看護 6. 母性看護の変遷・倫理 1) 母性看護の変遷 2) 母性看護の倫理 (1) 不妊と生殖補助医療 (2) 出生前診断 (3) 人工妊娠中絶 (4) ハイリスク児の治療 7. 母性看護と法整備 1) 母子保健水準 (1) 母子保健に関する統計 2) 法整備と母子保健施策 8. 評価						14H	講義
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1) 系統看護学講座、専門分野Ⅱ、母性看護学①、母性看護学概論、医学書院 2) 系統看護学講座、専門分野Ⅱ、母性看護学②、母性看護学各論、医学書院						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	小児看護援助論Ⅱ	1	30	15	2年次・ 第1・2学期	□外部講師 ☑学内講師	
	小児看護						
講義目標	小児期の健全な成長発達の助長・疾病予防・健康障害からの回復のため、小児と家族に対する保健指導を含めた適切な看護を学ぶ。 小児期に特有の疾患をとりあげ、看護過程を学ぶ。						
授業概要						時間	展開方法
1. 疾病・障害および入院が小児と家族に与える影響と看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 疾病・障害をもつ小児と家族の看護 2) 各発達段階の病気の理解 3) 小児の健康問題と看護 2. 外来受診や入院を必要とする小児と家族の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 外来における小児と家族の看護 2) 小児の入院と小児・家族への影響 3) 小児の入院環境 4) 小児の入院と小児・家族の看護 3. 症状を示す小児の看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 機嫌・啼泣 2) 痛み 3) 呼吸困難 4) 発熱(熱性けいれんを含む) 5) 消化器症状 6) 水分・電解質異常 4. 小児における疾病の経過と看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 慢性期にある小児と家族の看護 2) 急性期にある小児と家族の看護 3) 周術期にある小児と家族の看護 4) 終末期にある小児と家族の看護 5. 小児と家族に起こりやすい状況と看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 治療処置を受ける小児と家族の看護 2) 救急処置を要する小児と家族の看護 3) 活動制限のある小児と家族の看護 4) 感染予防の必要がある小児と家族の看護 5) 痛みのある小児と家族の看護 6) 障害のある小児と家族の看護 7) 虐待が疑われる小児と家族の看護 6. アセスメント技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 身体計測(身長・体重・胸囲・頭囲) 【演習】 2) バイタルサイン 【演習】 7. 事例による看護過程の展開 <ol style="list-style-type: none"> 1) 肺炎の患児(幼児期)の急性期の看護過程の展開 2) 疾患の理解とアセスメント 3) 成長・発達段階(食事介助・栄養状態のアセスメントを含む) 4) 家族看護 8. 評価						20H	講義
						9H	
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)新体系 看護学全書、小児看護学②、健康障害を持つ小児の看護、メヂカルフレンド社						
副読本	1)新体系 看護学全書、小児看護学①、小児看護学概論、小児保健、メヂカルフレンド社						
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	小児看護学概論	1	15	7	1年次・ 第2学期	□外部講師 ☑学内講師	
講義目標	小児期にある対象を理解し、保健問題の動向と保健対策の概要を知り、健全な成長発達、健康の保持・増進・ 疾病予防など看護の機能・役割、そして保育について理解する。						
授業概要						時間	展開方法
1. 小児看護の変遷 1) 小児とは 2) 小児の変遷 2. 小児看護における看護の役割 1) 小児看護の機能と役割 2) 小児看護の目標・役割・アプローチ 3. 小児看護の特徴 1) 小児看護の特徴 2) 小児の発達段階区分 3) 成長発達の進み方 4) 子どもの成長・発達について 5) 子どもの発育・発達評価 6) 発達理論について 4. 小児とその家族への看護 1) 政策と法律について (1) 児童福祉法・母子保健法・児童憲章 (2) 児童虐待予防法・学校安全保健法 2) 予防接種について 3) 子どもと家族を取り巻く社会の変化 4) 社会の中の子ども 5) 家族の中の子ども 5. 小児の栄養の特徴と重要性 1) 栄養の意義 2) 発達段階における子どもの栄養の特徴と看護 6. 各期の特徴と健康・保持増進のための看護 1) 新生児・乳児 2) 幼児・学童 3) 思春期・青年期 7. 現代社会における子どもをめぐる諸問題 1) 人口構造・出生率・乳児死亡・周産期死亡率・小児死亡 2) 遊び・食生活・肥満・事故・いじめ・不登校・体罰・虐待・自殺 8. 小児看護における倫理 9. 評価						14H	講義
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)新体系 看護学全書、小児看護学①、小児看護学概論、小児保健、メチカルフレンド社						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	老年看護演習	1	15	7	2年次・ 第2学期	□外部講師 ☑学内講師	
講義目標	老年期に特有な看護技術の習得を図るとともに、高齢者特有の疾病をとりあげ、援助方法を学ぶ。また、生活機能の観点からアセスメントし看護を展開する方法を演習から学ぶ。						
授業概要						時間	展開方法
1. 事例による看護展開 1)認知症のある大腿骨頸部骨折術後患者の回復期の看護過程の展開 (1)手術による生活様式の変更に応じた日常生活援助と指導 (2)脱臼予防のための援助、転倒転落の予防						14H	講義
2. 評価						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、老年看護学、医学書院						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	老年看護援助論Ⅱ	1	30	15	2年次・ 第1・2学期	□外部講師 ☑学内講師	
講義目標	老年期に起こしやすい徴候とその患者への看護を学ぶ。また、高齢者の検査・処置への対応、老年期特有の疾患の看護について学ぶ。						
授業概要						時間	展開方法
1. 高齢者の主要な徴候や起こりやすい問題とその看護 1)意識障害 2)せん妄 3)熱中症 4)脱水症 5)腰背部痛 6)やせ 7)しびれ 8)浮腫 9)睡眠障害 2. 高齢者特有の疾患と検査・治療 1)高齢者のフィジカルアセスメント (1)問診 (2)視診 (3)触診 (4)打診 (5)聴診 (6)血圧測定 (7)画像診断 (8)心電図 2)認知症患者の看護 3)治療・処置を受ける高齢者の看護 (1)薬物療法を受ける高齢者の看護 (2)手術療法を受ける高齢者の看護(創傷処置とせん妄を含む) (3)理学療法を受ける患者の看護 3. 評価						29H	講義
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、老年看護学、医学書院 2)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、老年看護 病態・疾患論、医学書院						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	老年看護学概論	1	30	15	1年次・第2学期	□外部講師 ☑学内講師	
講義目標	老年期にある対象を理解し、保健問題の動向と保健対策の概要を知り、健康の保持・増進・疾病予防など看護の役割を理解する。						
授業概要						時間	展開方法
<p>1. 老年看護の特徴の理解</p> <p>1)老年看護の目標</p> <p>2)老年看護のシステム</p> <p>3)老年看護の役割</p> <p>2. 高齢者の理解</p> <p>1)高齢社会</p> <p>2)高齢者とは</p> <p>3)老年期の役割と生活</p> <p>4)加齢変化に対する認識</p> <p>5)高齢者のライフヒストリー、老人体験</p> <p>6)エンドオブライフケア</p> <p>3. 加齢に伴う変化と健康上の問題</p> <p>1)身体的機能の変化 (1)運動機能 (2)感覚機能 (3)生理機能</p> <p>2)精神的機能の変化 (1)脳の機能の変化 (2)高齢者の心理 (3)老いの自覚と適応</p> <p>3)社会的機能の変化 (1)役割の縮小と社会的地位 (2)社会参加 (3)家庭内役割</p> <p>4. 高齢者を取り巻く社会</p> <p>1)社会構造の変化 (1)老老介護 (2)高齢者虐待 (3)孤独死</p> <p>2)保健医療・福祉の動向と課題 (1)老年保健の現状 (2)老年福祉対策 (3)介護保険</p> <p>3)社会的システム (1)健康の維持増進 (2)サポートシステム (3)家族形態の変化 (4)高齢者と家族の関係 (5)資源の活用方法</p> <p>5. 高齢者のQOLと倫理的問題</p> <p>6. 評価</p>						29H	講義
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、老年看護学、医学書院 2)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、老年看護 病態・疾患論、医学書院						
副読本							
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	成人看護援助論Ⅴ (腎・泌尿・生殖)	1	30	15	2年次・ 第1・2学期	☑外部講師 ☑学内講師	
講義目標	成人期における腎・泌尿・生殖器系の主要疾病を取り上げ、健康の段階に応じた看護、治療・処置に伴う看護を学ぶ。						
授業概要						時間	展開方法
I. 腎・泌尿						17H	講義
1. 腎・泌尿器疾患患者の特徴と看護の役割 1)腎・泌尿器疾患の動向 2)患者の特徴と看護師の役割 2. 腎疾患をもつ患者の看護 1)慢性腎臓病患者の看護 (1)急性腎不全 (2)慢性腎不全 ①薬物療法 ②食事療法 ③透析療法(血液透析・腹膜透析) (3)腎移植を受ける患者の看護 (4)糸球体腎炎 ①腎生検を受ける患者の看護 ②尿量異常・血尿のある患者の看護 (5)腎腫瘍 ①腎摘出術を受ける患者の看護 3. 事例による看護過程の展開 1)慢性腎不全患者の慢性期の看護過程の展開 (1)シャント造設患者への看護 (2)食事指導							
4. 泌尿器疾患をもつ患者の看護						4H	
1)尿路結石患者の看護 (1)疼痛・排尿障害のある患者の看護 (2)血尿のある患者の看護 (3)体外衝撃波結石破砕術(ESWL)を受ける患者の看護 2)前立腺肥大症 (1)経尿道的前立腺切除術(TUR-P)を受ける患者の看護 3)前立腺がん (1)経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-Bt)・尿路変更術を受ける患者の看護 4)膀胱がん (1)膀胱鏡を受ける患者の看護 5)腎がん (1)腎摘出術を受ける患者の看護							
II. 生殖						6H	
1. 女性生殖器疾患患者の特徴と看護の役割 1)女性生殖器疾患の動向 2)患者の特徴と看護師の役割 2. 女性生殖器疾患をもつ患者の看護 1)子宮がん・卵巣がんの患者の看護 (1)止血処置を受ける患者の看護 (2)化学療法とその看護 (3)ホルモン療法とその看護 (4)放射線療法とその看護 (5)手術療法とその看護 (6)夫婦生活への指導							

<p>2)子宮筋腫の患者の看護 (1)不正性器出血に対する患者の看護</p> <p>3)子宮内膜症の患者の看護 (1)疼痛のある患者の看護</p> <p>4)卵巣嚢腫の患者の看護</p> <p>5)外陰部・膣疾患のある患者の看護 (1)帯下・掻痒感のある患者の看護</p> <p>6)不妊症患者の看護 (1)頸管粘液検査・卵管疎通性検査を受ける患者の看護 (2)不妊患者における治療の選択とその看護</p> <p>7)乳癌の手術を受ける患者の看護 (1)マンモグラフィー・乳腺エコーを受ける患者の看護 (2)乳房腫瘍穿刺吸引細胞診を受ける患者の看護 (3)乳房を喪失した患者の心理 (4)ボディイメージの障害に対する看護 (5)上肢機能障害にともなう生活指導 (6)退院後の生活と指導</p> <p>Ⅲ. 評価</p>	<p>2H</p> <p>1H</p>	
<p>評価方法</p>	<p>出席状況 筆記試験</p>	
<p>テキスト</p>	<p>1)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、成人看護学⑧、腎・泌尿器、医学書院 2)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、成人看護学⑨、女性生殖器、医学書院</p>	
<p>副読本</p>		
<p>備考</p>		

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	成人看護援助論Ⅳ (血液・内分泌)	1	30	15	2年次・ 第1・2学期	□外部講師 ☑学内講師	
	内分泌・代謝・血液・感染・免疫						
講義目標	成人期における血液・感染・免疫・内分泌器系の主要疾病を取り上げ、健康の段階に応じた看護、治療・処置に伴う看護を学ぶ。						
授業概要						時間	展開方法
I. 血液・感染・免疫 1. 血液・感染症・免疫疾患患者の特徴と看護の役割 1)血液・感染症・免疫疾患患者の動向 2)患者の特徴と看護師の役割 2. 疾患をもつ患者の看護 1)白血病・悪性リンパ腫患者の看護 (1)急性期、増悪期患者の看護 ①苦痛・不安に対する症状の緩和への援助 ②貧血のある患者の看護 ③出血傾向のある患者の看護 ④感染予防と感染徴候の早期発見 ⑤無菌室使用の援助 (2)検査・処置を受ける患者の看護 ①出血の予防と出血時の処置 ②骨髄穿刺検査に対する援助 (3)化学療法における援助 (4)社会資源の活用 (5)寛解期の患者の看護 ①療養・治療に関する指導 ②日常生活に対する指導 (6)終末期の患者の看護 ①安楽への工夫 ②患者家族への精神的支援 (7)造血幹細胞移植を受ける患者の看護 2)アレルギー性疾患患者の看護 (1)スキントテストを受ける患者の看護 (2)減感作療法を受ける患者の看護 3)自己免疫性(リウマチ・SLE)疾患患者の看護 (1)疼痛の軽減 (2)関節の保護とADLの拡大 (3)薬物療法(副腎皮質ステロイドホルモン・免疫抑制薬) (4)長期療養への支援 (5)レイノー現象のある患者の看護 4)HIV患者の看護 (1)性感染症とHIV (2)身体的症状と援助 (3)薬物療法 (4)二次感染予防 (5)精神的援助 (6)患者教育 (7)守秘義務						15H	講義

<p>II. 内分泌</p> <p>1. 内分泌・代謝疾患患者の看護の特徴と看護の役割</p> <p>1) 内分泌・代謝疾患患者の動向</p> <p>2. 疾患をもつ患者の看護</p> <p>1) 糖尿病患者の看護</p> <p>(1) 糖尿病受容への援助と心理的サポート</p> <p>(2) 患者家族への教育的アプローチ</p> <p>① 糖尿病の自己管理をめざした教育</p> <p>② 食事療法、薬物療法、運動療法への援助</p> <p>③ インシュリン・自己注射の操作</p> <p>(3) 検査への援助</p> <p>① 血糖測定 【演習】</p> <p>(4) 急性合併症と予防</p> <p>① 低血糖</p> <p>② 糖尿病ケトアシドーシスと高浸透圧高血糖症候群</p> <p>(5) 慢性合併症と予防</p> <p>① 動脈硬化症、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症、糖尿病性神経障害、足病変とフットケア</p> <p>(6) 社会資源の活用</p> <p>2) 甲状腺・副甲状腺疾患患者の看護</p> <p>(1) 甲状腺機能亢進症患者への看護</p> <p>(2) 甲状腺機能低下症患者への看護</p> <p>(3) 副甲状腺機能低下症患者への看護</p> <p>3) 副腎疾患患者の看護</p> <p>(1) アルドステロン症患者の看護</p> <p>(2) クッシング症候群患者の看護</p> <p>(3) アジソン病患者の看護</p> <p>(4) 副腎摘出術を受ける患者の看護</p> <p>4) 脂質異常、肥満、尿酸代謝異常患者の看護</p> <p>(1) 食事療法</p> <p>(2) 運動療法</p> <p>(3) 薬物療法</p> <p>3. 事例による看護過程の展開</p> <p>1) 糖尿病患者の慢性期の看護過程の展開</p> <p>(1) 食事療法、薬物療法、運動療法への援助</p> <p>(2) 合併症予防</p>	<p>14H</p>	
<p>III. 評価</p>	<p>1H</p>	

<p>評価方法</p>	<p>出席状況 筆記試験</p>
<p>テキスト</p>	<p>1) 系統看護学講座、専門分野Ⅱ、成人看護学④、血液・造血器、医学書院</p> <p>2) 系統看護学講座、専門分野Ⅱ、成人看護学⑥、内分泌・代謝、医学書院</p> <p>3) 系統看護学講座、専門分野Ⅱ、成人看護学⑩</p> <p>アレルギー-膠原病 感染症、医学書院</p>
<p>副読本</p>	<p>1) 糖尿病食事療法のための食品交換表、日本糖尿病協会、文光堂</p>
<p>備考</p>	

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	成人看護援助論Ⅲ (消化・運動)	1	30	15	2年次・ 第1学期	☑外部講師 ☑学内講師	
講義目標	成人期における消化・運動系の主要疾病を取り上げ、健康の段階に応じた看護・治療・処置に伴う看護を学ぶ。						
授業概要						時間	展開方法
I. 消化 1. 消化器疾患患者の特徴と看護の役割 1)消化器疾患患者の動向 2)患者の特徴と看護師の役割 2. 疾患をもつ患者の看護 1)食道がん患者の看護 (1)手術療法とその看護 2)胃がん患者の看護 (1)胃透視を受ける患者の看護 (2)上部内視鏡検査を受ける患者の看護 (3)手術療法とその看護 (4)食事療法とその看護 (5)生活指導 3)大腸がん患者の看護 (1)下血のある患者の看護 (2)下部内視鏡検査を受ける患者の看護 (3)注腸造影を受ける患者の看護 (4)手術療法とその看護 ①ストーマ造設術を受ける患者の看護 ②オストメイトへの日常生活援助 【演習】 (5)食事療法とその看護 4)胆道疾患患者の看護 (1)腹痛のある患者の看護 (2)腹腔鏡下胆嚢摘出術を受ける患者の看護 5)膵炎の患者の看護 (1)内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP) 6)肝硬変患者の看護 (1)吐血のある患者の看護 (2)SBチューブ留置中の患者の看護 (3)黄疸のある患者の看護 (4)経皮的肝胆道ドレナージ(PTCD)を受ける患者の看護 (5)腹水のある患者の看護 (6)食事療法とその看護 (7)薬物療法とその看護 (8)安静療法とその看護 7)肝臓がんの患者の看護 (1)肝生検を受ける患者の看護 (2)冠動脈塞栓術(TAE)を受ける患者の看護						15H	講義

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	成人看護援助論Ⅱ (脳神経・神経筋難病・ 重症心身障がい)	1	30	15	2年次・ 第1学期	<input checked="" type="checkbox"/> 外部講師 <input type="checkbox"/> 学内講師	
講義目標	成人期における脳神経系・神経筋難病・重症心身障がいの主要疾病を取り上げ、健康の段階に応じた看護、治療・処置に伴う看護を学ぶ。						
授業概要						時間	展開方法
I. 脳神経						19H	講義
1. 脳神経疾患患者の特徴と看護の役割							
1)脳神経疾患患者の動向							
2)患者の特徴と看護師の役割							
2. 疾患をもつ患者の看護							
1)脳梗塞・脳出血患者の看護							
(1)梗塞部位・脳動脈瘤破裂による症状							
①意識障害のある患者の看護							
②言語障害のある患者の看護							
③運動麻痺のある患者の看護							
④けいれんを起こす患者の看護							
⑤嚥下障害のある患者の看護							
⑥頭蓋内圧亢進症状のある患者の看護							
(2)検査・処置を受ける患者の看護							
①腰椎穿刺							
②脳血管造影							
③脳室ドレナージ							
(3)治療を受ける患者の看護							
①手術療法とその看護							
②薬物療法とその看護							
③リハビリテーションとその看護							
2)硬膜下血腫患者の看護							
3)頭部外傷患者の看護							
4)脳腫瘍、下垂体腺腫患者の看護							
3. 事例による看護過程の展開							
1)脳梗塞患者の回復期の看護過程の展開							
(1)日常生活の再構築へ向けた援助							
II. 神経筋難病						10H	
1. 神経筋難病疾患患者の特徴と看護の役割							
1)保健医療の動向							
2)看護に求められるもの							
2. 神経筋難病疾患の患者の看護							
1)筋萎縮性側索硬化症							
2)パーキンソン病							
3)筋ジストロフィー							
4)重症筋無力症							
III. 重症心身障がい							
1. 重症心身障がい者(児)の患者の特徴と看護の役割							
1)保健医療の動向							
2)看護に求められるもの							
IV. 評価						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、成人看護学⑦、脳・神経、医学書院						
副読本	1)系統看護学講座、別巻、臨床外科看護総論、医学書院 2)術中/術後の生体反応と急性期看護、医歯薬出版						
備考							

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	成人看護援助論Ⅰ (呼吸・循環)	1	30	15	2年次・ 第1.2学期	☑外部講師 ☑学内講師	
講義目標	成人期における呼吸・循環系の主要疾病を取り上げ、健康段階に応じた看護・治療・処置に伴う看護を学ぶ。						
う						時間	展開方法
I. 呼吸 1. 呼吸器疾患患者の特徴と看護の役割 1)呼吸器疾患患者の動向 2)患者の特徴と看護師の役割 2. 疾患をもつ患者の看護 1)気管支喘息の患者の看護 (1)吸入療法を受ける患者の看護 2)肺炎の患者の看護 (1)せき・喀たんのある患者の看護 3)肺結核の患者の看護 (1)血たん・喀血のある患者の看護 (2)化学療法とその看護 (3)服薬指導と生活指導(栄養、再発予防) 4)肺がん患者の看護 (1)胸痛のある患者の看護 (2)気管支鏡検査(BF)を受ける患者の看護 (3)化学療法とその看護 (4)放射線療法とその看護 (5)手術療法を受ける患者の看護 ①胸腔ドレナージの目的、看護 5)慢性閉塞性呼吸器疾患患者の看護 (1)呼吸困難のある患者の看護 (2)肺理学療法を受ける患者の看護 【演習】 ①体位ドレナージ ②スクイーミング ③呼吸法 (3)急性増悪期の患者の看護 (4)在宅療法を受ける患者の看護 6)人工呼吸器装着中の患者の看護 (1)人工呼吸器のしくみ (2)人工呼吸器装着中の患者の看護						15H	講義

<p>II. 循環</p> <p>1. 循環器疾患患者の特徴と看護の役割</p> <p>1)循環器疾患患者の動向</p> <p>2)患者の特徴と看護師の役割</p> <p>2. 疾患をもつ患者の看護</p> <p>1)虚血性心疾患の患者の看護</p> <p>(1)労作性狭心症・冠攣縮性狭心症患者の看護</p> <p>(2)急性冠症候群患者の看護</p> <p>①苦痛の軽減(共通のある患者の看護)</p> <p>②合併症の予防</p> <p>③検査・治療への援助</p> <p>心臓カテーテル法を受ける患者の看護</p> <p>経皮的冠状動脈インターベンション(PCI)を受ける患者の看護</p> <p>④薬物療法、食事療法、日常生活の指導</p> <p>(3)心臓リハビリテーションとその看護</p> <p>2)心不全の患者の看護</p> <p>(1)急性心不全患者の看護</p> <p>①苦痛の軽減(浮腫のある患者の看護)</p> <p>②検査・治療への援助</p> <p>血行動態モニタリングを受ける患者の看護</p> <p>(2)慢性心不全患者の看護</p> <p>①自己管理に向けた指導</p> <p>3)血圧異常の患者の看護</p> <p>4)不整脈の患者の看護</p> <p>(1)動悸のある患者の看護</p> <p>(2)薬物療法とその看護</p> <p>(3)ペースメーカーを装着した患者の看護</p> <p>5)弁膜症(感染性心内膜炎を含む)患者の看護</p> <p>(1)薬物療法とその看護</p> <p>(2)手術療法(弁置換術・弁形成術)とその看護</p> <p>6)血管系疾患の患者の看護</p> <p>3. 心電図検査の実際 【演習】</p> <p>4. 事例による看護過程の展開</p> <p>1)急性心筋梗塞患者の急性期の看護過程の展開</p> <p>(1)合併症の早期発見と予防</p> <p>(2)心機能に合わせた生活援助の拡大</p> <p>III. 評価</p>	<p>12H</p> <p>2H</p> <p>1H</p>	
<p>評価方法</p>	<p>出席状況 筆記試験</p>	
<p>テキスト</p>	<p>1)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、成人看護学②、呼吸器、医学書院</p> <p>2)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、基礎看護学③、循環器、医学書院</p>	
<p>副読本</p>	<p>1)系統看護学講座、別巻、臨床外科看護総論、医学書院</p> <p>2)術中/術後の生体反応と急性期看護、医歯薬出版</p>	
<p>備考</p>		

分野	科目名	単位	時間数	回数	時期	担当講師	
専門Ⅱ	成人看護学概論	1	30	15	1年次・ 第1.2学期	□外部講師 ☑学内講師	
講義目標	成人期にある対象の特徴を理解し、成人期各期における保健問題の動向と保健対策の概要を知り、健康の保持増進・疾病予防など看護の役割を理解する。また、健康段階に応じた看護を理解する。						
授業概要						時間	展開方法
1. 成人看護学の位置づけと構造 2. 成人の特徴 1)ライフサイクルからみた成人の位置づけ・特徴 2)成人各期の特徴 身体的・心理的・社会的 発達課題 3. 成人における健康保持・増進・疾病の予防 1)成人期の健康に対する指標・成人の生活 2)生活習慣に関する健康問題 3)職業に関する健康問題 4)生活ストレスに関する健康問題 5)健康のための保健対策(健康日本21) ヘルスプロモーションと看護 4. 成人に対する看護アプローチの基本 1)成人看護に活かせる看護理論(中範囲理論) 2)看護における学習支援 (1)対象者の理解(成人学習者・コンプライアンス・アドヒアランス・自己効力) (2)指導内容と指導方法(教材と媒体) (3)個人へのアプローチ・集団へのアプローチ(エンパワメント・エデュケーション) 3)看護実践における倫理的判断 4)意思決定支援 5)家族支援 5. 成人の健康レベルに対応した看護 1)危機理論 2)病みの軌跡 3)障害受容 4)死の受容過程 6. 評価						29H	講義
						1H	
評価方法	出席状況 筆記試験						
テキスト	1)系統看護学講座、専門分野Ⅱ、成人看護学①、成人看護学総論、医学書院 2)系統看護学講座、専門分野Ⅰ、基礎看護学②、基礎看護技術Ⅰ、医学書院						
副読本							
備考							